

# J A M 政策NEWS

2023年7月19日 第2023-18号

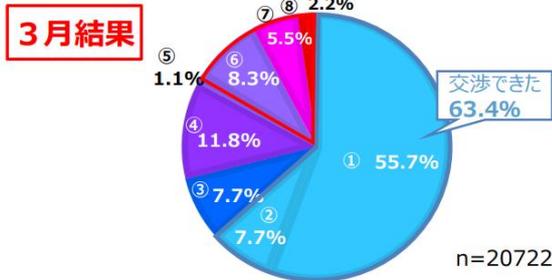
【発行】J A M  
 【発行責任者】中井寛哉  
 【編集】総合政策グループ  
 TEL : 03-5860-6150  
 E-Mail : seisaku@jam-union.jp

## 3月価格交渉促進月間、フォローアップ調査の概要

中小企業庁は、3月価格交渉月間のフォローアップ調査の概要を公表した。

アンケート調査の回答企業数は、17,292社。下請Gメンによるヒアリング調査約2,243社となっている。

価格交渉の状況では、「価格交渉を申し入れて応じて貰えた／発注側からの声かけで交渉できた」割合は前回調査58.4%（昨年9月）より増加した。一方、「発注側から交渉の申し入れが無かった（⑥）、協議に応じて貰えなかった（⑦）、減額のために協議申し入れがあった（⑧）」が依然として約16%あり、二極化が進行している。



- ① コスト上昇分を取引価格に反映するために発注側企業に協議を申し入れ、話し合いに応じて貰えた。
- ② コスト上昇分を取引価格に反映させる必要がないか、発注側企業からの声かけがあり、話し合いが行われた。
- ③ コストが上昇していないため、協議を申し入れなかった。
- ④ コストが上昇しているが、自社で吸収可能と判断し、協議を申し入れなかった。
- ⑤ コストが上昇し、自社で吸収可能な範囲を超えているところ、発注側企業の方から「価格に反映させる必要が無いか」との声かけがあったが、発注量の減少や取引中止を恐れ、自社から協議を申し入れなかった。
- ⑥ コストが上昇し、自社で吸収可能な範囲を超えているところ、発注側企業の方からの声かけも受けておらず、発注量の減少や取引中止を恐れ、自社から協議を申し入れなかった。
- ⑦ コストが上昇しているため、発注側企業に協議を申し入れたが、協議にすら応じてもらえなかった。
- ⑧ 取引価格を減額するために、発注側企業から協議の申し入れがあった。もしくは、協議の余地なく一方的に取引価格を減額された。

価格交渉状況の業種別ランキング（価格交渉に応じた業種）では、5位建材・住宅設備、7位金属、8位電機・情報通信機器がランクを上げている。9位機械製造、20位自動車・自動車部品がランクを下げた。

価格交渉状況の業種別ランキング（価格交渉に応じた業種）

順位	2022年9月	順位	2023年3月
1位	石油製品・石炭製品製造	1位	造船↑
2位	鉱業・採石・砂利採取	2位	繊維↑
3位	卸売	3位	食品製造↑
4位	造船	4位	飲食サービス↑
5位	機械製造	5位	建材・住宅設備↑
6位	食品製造	6位	卸売↑
7位	繊維	7位	金属↑
8位	紙・紙加工	8位	電機・情報通信機器↑
9位	化学	9位	機械製造↓
10位	電機・情報通信機器	10位	紙・紙加工↓
11位	建材・住宅設備	11位	製薬↑
12位	金属	12位	化学↓
13位	小売	13位	石油製品・石炭製品製造↓
14位	製薬	14位	小売↓
15位	飲食サービス	15位	廃棄物処理↑
16位	印刷	16位	鉱業・採石・砂利採取↓
17位	自動車・自動車部品	17位	情報サービス・ソフトウェア↑
18位	電気・ガス・熱供給・水道	18位	電気・ガス・熱供給・水道→
19位	建設	19位	建設→
20位	不動産・物品賃貸	20位	自動車・自動車部品↓
21位	情報サービス・ソフトウェア	21位	印刷↓
22位	広告	22位	不動産・物品賃貸↓
23位	金融・保険	23位	金融・保険→
24位	通信	24位	広告↓
25位	廃棄物処理	25位	放送コンテンツ↑
26位	放送コンテンツ	26位	トラック運送↑
27位	トラック運送	27位	通信↓
-	その他	-	その他

JAMは、3月の価格交渉促進月間の状況把握を行い価格転嫁の交渉がし易い環境ができつつあるとみているが、価格転嫁の実態については、一部にとどまっている。物価上昇分の吸収が不十分であることから継続した取り組みの必要性を訴えていく。

### 価格転嫁待ったなし院内集会を開催

2023年8月8日に価格転嫁待ったなし院内集会を開催します。集会は、1部では、学習会として中企庁、公取を講師に招きます。2部では、現場の実態報告を行います。開催概要と参加申し込みは、下記まで。

<https://forms.gle/hEDbL4iCJnqjf2nX6>

